



さんに相談し彼から電話をしてもらったら行政の態度が変わりました。人と闘うときは、相手の倍くらいこちらが解らないと闘えません。その後、キャンナスも38カ所に広がりました。

### 有償ボランティア 無料の欠点

キャンナスは有償ボランティアで、地域の事情によって時間単価を決めています。ゼロに近いところから2千円迄、無料の欠点は2つあり、利用者にとっての最大の欠点は断れないことです。タダで近所の方がご厚意で来てくれる場合に自分の生活を掻き乱されて、嫌だと思っても無下に断れないです。逆に、本当に良くしてもらって感謝して、お世話を続けて欲しいと思うと、何かお礼をと考え負担になります。無料から有償にしたところでは「お金を取ってくれなかつたら、来てもらっては困る」とまで言われたそうです。

生活をおみていると、どこからどこまでがヘルパーの仕事という区別がありません。ところが、制度はぶつ切りにしてあるので嫌になります。もっと自分の思いを形にしたいという熱い気持ちのナース仲間が大勢います。皆さんベテランで、私のような経験10カ月なんてナースはいなくて、定年退職まで勤めた方とか、訪問看護を17年続けてきたという方が、次々に立ち上げてくれています。

### 訪問看護ステーションを一人開業できるように

ナースの力を地域で活用するために一人で開業できるようにお願いしています。看護協会が言っているような看護報酬を高くしてくれなんて言っています。2.5人を1人にするだけ、こんなことはすぐにできると思ったのですが、なかなか通らないのです。訪問看護ステーションはまだ6千くらいしかありません。目標値に達していないのに、医師会が猛反対しています。「看護婦ごときに一人で開業させてはならない」と。開業という言葉に医師の特権を感じているのでしょうか。このままでは市民が困ってしまう。療養病床がなくなり、何とか受け皿をつくらないといけない、ナースが頑張らないといけないと思います。困っている人を何とかしたい。頭でっかちのナースでなく、柔軟に困っている人に寄り添う仕事をしてほしいです。

### ナースの専門性 ミニドクターではない

アメリカではNP（ナースプラクティショナー）という資格でナースが開業できます。フランスでも独立開業しています。NPについては日本でもブームのようにあちこちの大学で大学院を作っていますが、医者の代わりになれる、それにナースの組織がのっていることに危惧を感じます。私はナースの処方権は疑問に思います。薬剤師が国家ライセンスを持つ一人開業可能な職種で、6年になったのに医者から言われた幕しか出せない。棚から出すだけなら何で国家ライセンスが必要か。処方権をナースに出す前に、薬剤師さんに、患者さんからの要望を訊いてお薬を処方できるようにした方が良いのではないのでしょうか。

本来ナースは医者の手先ではなかつたはずで、ミニドクターになることがかっこいいの、医師の業務を代行するナースがもてはやされがちです。「ナース本来の仕事は？」「看護師の原点は？」と訊くと小学生でも「ナイチンゲール」と答えます。クリミア戦争で、患者さんのシーツを取り換え、換気をして環境を良くする、温かいスープを飲ませる。ろうそくを持って野戦病院の中を夜中も歩いたから、今も戴帽式（これも最近は意味がなくなってきましたが）でろうそくに灯を点すのです。その原点に戻って、環境整備とか、温かいスープとか、そばに寄り添うとか、ナース本来の業務を取り戻してもらいたいです。

ヘルパーの仕事ができないナースは、ウチは就職お断りしています。一人暮らしの方でご飯を食べていない人がいれば、血圧を測らないといけません、オムツを替えて、ご飯も食べさせないといけません。それはヘルパーの仕事なんて言っているナースはお断りです。

### ヘルパーとナースの壁

机を並べて10年仕事してきても、それでもヘルパーは、まだナースに言えません。悲しいですが、やっぱり言えない。壁がないと信じたいのですが、やっぱりヘルパー同士のフラットな世界にナースは入っていけない。他の事業所のような高い厚い壁はないと思いますが、それでも壁を感じます。一般の人がお医者さんに何も言えないように、やっぱり、壁があります。また、ナースがミニドクターになりたいと考えるように、ヘルパーが医療用語を使うのがかっこいいと思うような風潮があります。バイタルサインなんて昔はヘルパーは誰も知らなかった、一般の人が聞いて解らないような言葉を使ってはいけないと思います。専門用語はかっこよく思えるのか、今はヘルパーが医学用語を使います。どうも間違えた方向に流れているような気がします。

### 国家資格があれば一人開業できるよ

PT（理学療法士）とOT（作業療法士）は訪問看護ステーションからでないと訪問できないので、PTとOTの会は5年くらい前からステーションを作れるよう申し入れをしています。鍼灸マッサージが開業できるのに、リハビリ職種が独立開業できないなんて変でしょ？ 市民の方々のために、リハビリ職種の独立開業が必要ということを知って欲しいと思います。国家ライセンス保持者で独立開業ができないのは、実はコメディカルだけです。弁護士、会計士、理・美容師は一人開業できるのに、検査技師もレントゲン技師も医療職はダメ。それは長年の自民党と医師会との関係から続いているのです。これを何とか、国家ライセンスを持った人間は一人で開業できる、その任を果たして良いと認めてもらえるような社会に変えていきたいと思います。皆さま方のご協力を得て、変えていきたいなと思います。

### 質の担保は市民が

私が数医者だと思う先生のところも患者さんがいっぱい行っていれば、患者さんにとっては取っ手じゃないわけで、信頼しているなら尊重するしかない。質の担保は同業者がするのはなく、市民がするものだと思います。きちんと説明してくれる理屈がしっかりしているナースが良いという人もいれば、理屈なんていいから優しいナースが良いと言う人もいます。トコロとか優秀とか同業者の評価でなく利用者が選ぶことです。だから星降るほど作ってしまえば自然淘汰され、それが質の向上につながると思います。

### （参加者の感想）

今後歯科は、コメディカルの立場に立って医療に関わっていく必要性もあると思います。口腔ケアステーションの現実性ですが、まずは訪問看護ステーションの一部門としてのスタートが良いのではないかと思います。

人を救うという熱い想いはいずれ世界を変えたいと思える会でした。

東京医科歯科大学大学院  
医歯学総合研究科  
高齢者歯科学分野  
第2研究室（尾崎研一郎）

